

長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2024年第28週 2024年7月8日（月）～2024年7月14日（日）2024年7月18日作成

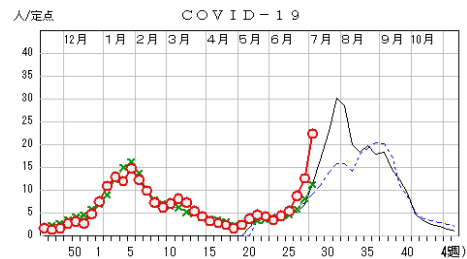
☆定点[※]報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

（1）新型コロナウイルス感染症

第28週の報告数は1568人で、前週より685人多く、定点当たりの報告数は22.40であった。

年齢別では、10～14歳（187人）、50～59歳（166人）、40～49歳（150人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、壱岐保健所（35.67）、県南保健所（34.38）であった。

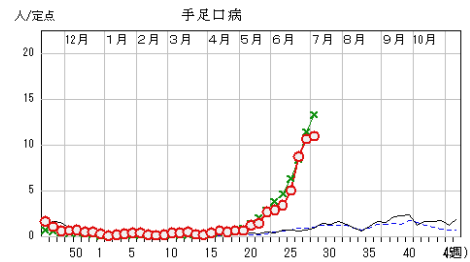


（2）手足口病

第28週の報告数は483人で、前週より13人多く、定点当たりの報告数は10.98であった。

年齢別では、1歳（150人）、2歳（101人）、1歳未満（63人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県央保健所（20.29）、県北保健所（17.00）、長崎市保健所（13.40）、佐世保市保健所（13.00）であった。

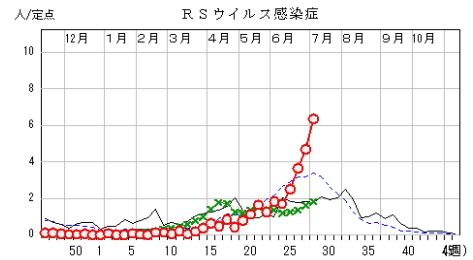


（3）RSウイルス感染症

第28週の報告数は279人で、前週より72人多く、定点当たりの報告数は6.34であった。

年齢別では、1歳（98人）、1歳未満（89人）、2歳（52人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、長崎市保健所（10.30）、県南保健所（9.80）、佐世保市保健所（9.00）であった。



○—○ 当年(長崎県) — 前年(長崎県)
×—× 当年(全国) - - - 前年(全国)

※インフルエンザ/COVID-19定点数：70、小児科定点数：44、眼科定点数：8、基幹定点数：12

☆上位3疾患の概要

【新型コロナウイルス感染症】

第28週の報告数は1,568人で、前週より685人多く、定点当たり報告数は22.40でした。地区別に見ると、壱岐地区（35.67）、県南地区（34.38）は他の地区より多くなっています。年代別では10代、10歳未満が多く、すべての年代で前週より増加しました。県全体で5週続けて増加していますので、今後も動向に注意しましょう。

本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

【手足口病】

第28週の報告数は483人で、前週より13人多く、定点当たり報告数は10.98でした。4週続けて警報レベル開始基準値「5.0」を超えました。地区別にみても、壱岐地区、対馬地区をのぞくすべての地区で警報レベルの報告数となっています。

本疾患は、口腔粘膜および四肢末端に現れる水疱性発疹を特徴とする乳幼児に多いウイルス性疾患です。感染経路は、糞口感染、飛沫感染で水疱内容液からも感染します。手洗い、うがいを励行し、感染防止に努めましょう。原因ウイルスの種類によっては手足口病とともに無菌性髄膜炎や脳炎を併発させることもありますので、早めに医療機関を受診しましょう。

【RSウイルス感染症】

第28週の報告数は279人で、前週より72人多く、定点当たりの報告数は6.34でした。地区別にみると長崎地区（10.30）、県南地区（9.80）、佐世保地区（9.00）は他の地区より多くなっています。昨年同時期よりも報告数が多く、4週続けて増加しています。

本疾患は、発熱や鼻水が主な症状の呼吸器感染症で、通常は軽症で済みますが、乳幼児、特に6か月未満の乳幼児では、重い咳が出て呼吸困難や肺炎、脳症になることもあります。感染経路は接触感染や飛沫感染で、一度かかっても再感染し、大人も感染することがあります。

乳幼児には、手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診させましょう。

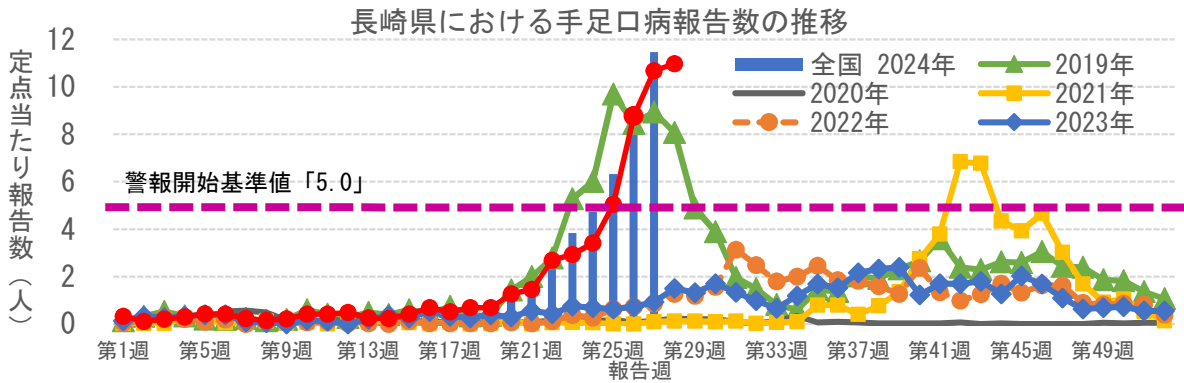
☆トピックス：手足口病が流行しています

手足口病は、その名のとおり四肢および口腔内に水疱性の発疹を生じる疾患です。主として咳やくしゃみなどのしぶきを介した飛沫感染や、飛沫や便に含まれるウイルスが手指を介して口から侵入する接触感染により広がります。主な原因ウイルスとしてコクサッキーウイルスA6(CV-A6)、CV-A16、エンテロウイルス71型(EV-A71)が知られています。

基本的には予後良好な疾患ですが、原因ウイルスによっては、中枢神経系合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を併発することがあります。

長崎県の第28週の定点当たり報告数は「10.98」で9週続けて増加し、4週続けて警報レベル開始基準値「5.0」を超えました。地区別でも、10保健所のうち、壱岐と対馬を除く8保健所で「5.0」を超えています。年齢別では、2歳以下で65%を占めています。

今後も手洗い、うがいを励行し、感染防止に努め体調管理に気をつけましょう。

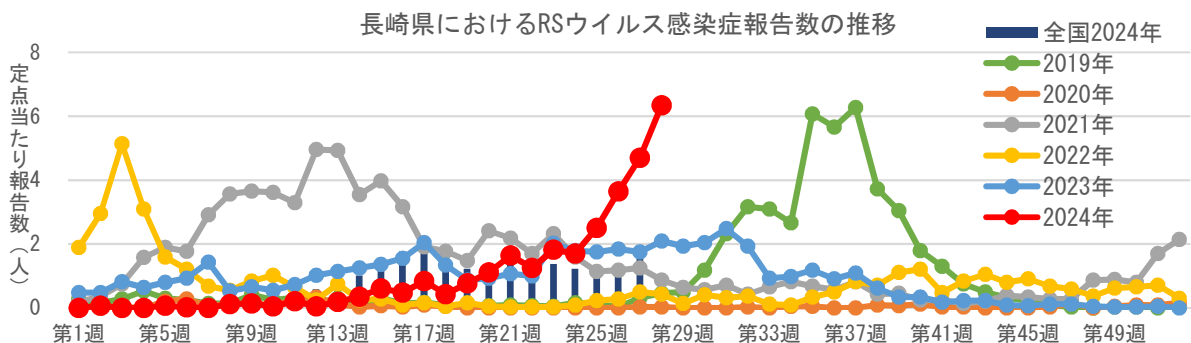


☆トピックス：RSウイルス感染症に注意しましょう

RSウイルス感染症は、発熱や鼻水が主な症状の呼吸器感染症で、通常は軽症で済みますが、乳幼児、特に6か月未満の乳幼児では、重い咳が出て呼吸困難や肺炎、脳症になることもあります。感染経路は接触感染や飛沫感染で、一度かかっても再感染し、大人も感染することがあります。

県内の第28週の定点当たり報告数は「6.34」で、過去5年で最大の報告数となっています。

乳幼児には、手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診させましょう。



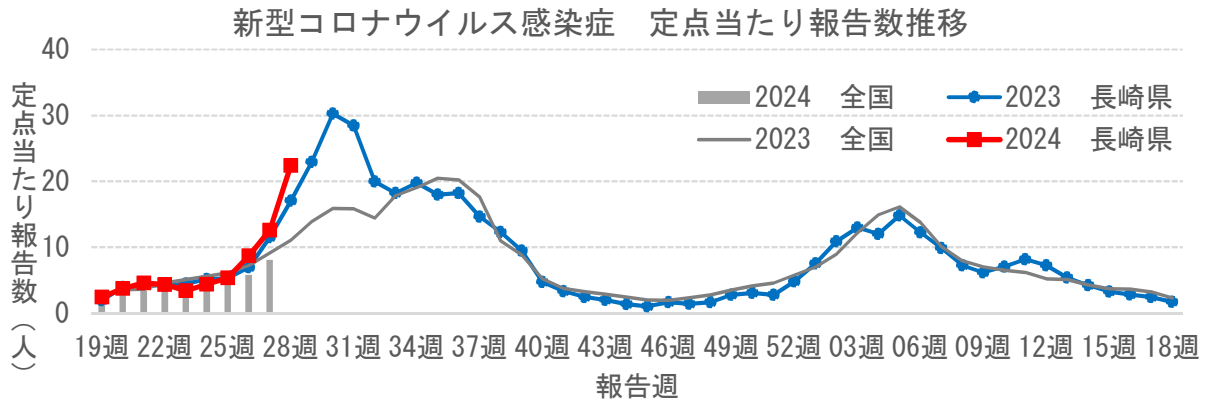
★トピックス：新型コロナウイルス感染症の報告数が増加しています

新型コロナウイルス感染症の長崎県における第28週の定点当たり報告数は「22.40」で、5週続けて増加しました。2023年においても、7月から報告数の増加がみられました。

地区別にみると、すべての地区で前週より増加し、壱岐地区（35.67）、県南地区（34.38）は他の地区より多くなっています。

年代別では、10代、10歳未満が多く、前週の2倍以上に増加しました。

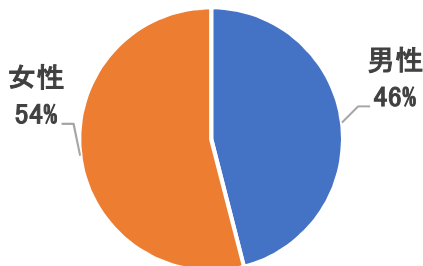
今後も動向に注視し、場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。



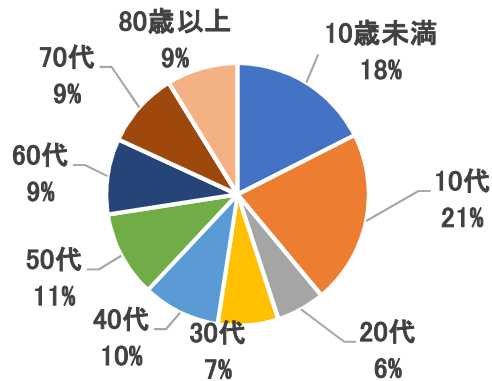
新型コロナウイルス感染症の保健所別報告数

| | 長崎県 | 佐世保市 | 長崎市 | 壱岐 | 西彼 | 県央 | 県南 | 県北 | 五島 | 上五島 | 対馬 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| 報告数 | 1568 | 120 | 418 | 107 | 103 | 269 | 275 | 103 | 38 | 70 | 65 |
| 定点数 | 70 | 11 | 17 | 3 | 6 | 11 | 8 | 4 | 4 | 3 | 3 |
| 定点当たり報告数 | 22.40 | 10.91 | 24.59 | 35.67 | 17.17 | 24.45 | 34.38 | 25.75 | 9.50 | 23.33 | 21.67 |

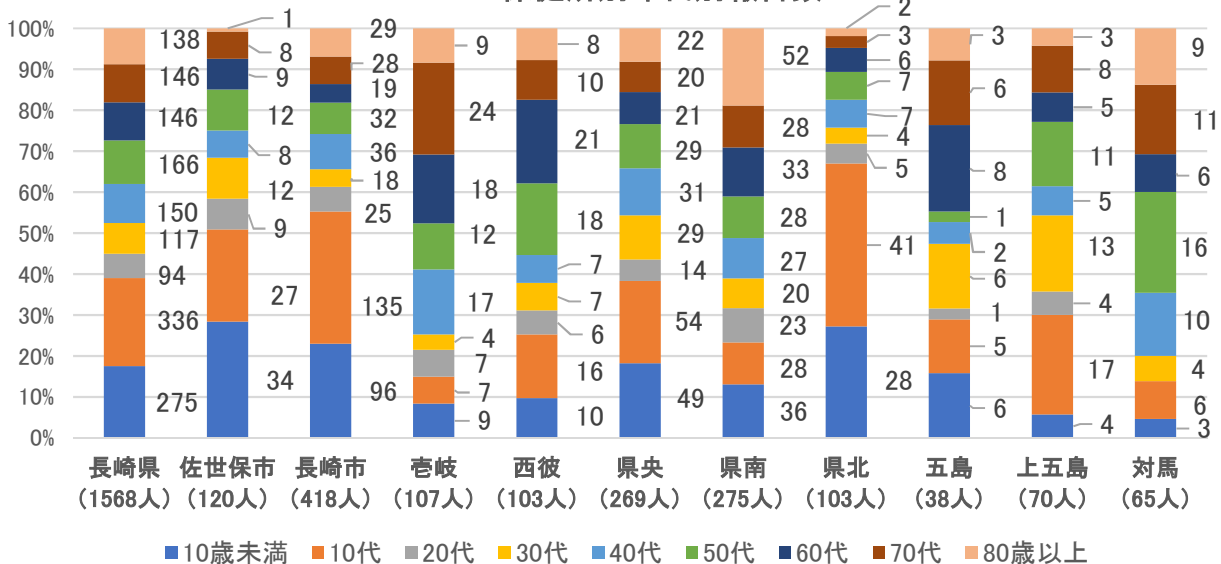
性別割合



年代別割合



保健所別年代別報告数



◆全数届出の感染症

2類感染症：報告なし

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 患者 男性（60代・1名） 女性（70代・1名）

4類感染症：報告なし

5類感染症(全数把握対象)：アメーバ赤痢 患者 男性（60代・1名）

梅毒 患者 男性（50代・1名）

無症状病原体保有者 男性（20代・1名）

◆定点把握の対象となる5類感染症

(1) 疾病別・週別発生状況

(第23～28週、6/3～7/14)

| 疾患名 | 定点当たり患者数 | | | | | |
|------------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 23週 | 24週 | 25週 | 26週 | 27週 | 28週 |
| | 6/3～ | 6/10～ | 6/17～ | 6/24～ | 7/1～ | 7/8～ |
| インフルエンザ | 0.11 | 0.09 | 0.04 | 0.20 | 0.39 | 0.56 |
| 新型コロナウイルス感染症 | 3.41 | 4.36 | 5.36 | 8.71 | 12.61 | 22.40 |
| RSウイルス感染症 | 1.82 | 1.70 | 2.50 | 3.64 | 4.70 | 6.34 |
| 咽頭結膜熱 | 1.05 | 0.91 | 0.84 | 0.82 | 0.34 | 0.30 |
| A群溶血性链球菌咽頭炎 | 5.93 | 5.02 | 3.98 | 3.84 | 3.18 | 3.32 |
| 感染性胃腸炎 | 2.43 | 1.80 | 1.89 | 2.16 | 1.55 | 1.45 |
| 水痘 | 0.27 | 0.30 | 0.25 | 0.14 | 0.20 | 0.23 |
| 手足口病 | 2.93 | 3.41 | 5.05 | 8.77 | 10.68 | 10.98 |
| 伝染性紅斑（リンゴ病） | 0.02 | 0.05 | | 0.05 | 0.02 | |
| 突発性発しん | 0.30 | 0.36 | 0.32 | 0.48 | 0.30 | 0.16 |
| ヘルパンギーナ | 0.55 | 0.30 | 0.39 | 0.86 | 1.18 | 0.84 |
| 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） | 0.02 | 0.07 | 0.14 | 0.02 | 0.05 | 0.02 |
| 急性出血性結膜炎 | | | | 0.38 | 0.13 | |
| 流行性角結膜炎 | 0.50 | 0.88 | 0.13 | 0.75 | 0.50 | 1.00 |
| 細菌性髄膜炎 | | | | | 0.08 | |
| 無菌性髄膜炎 | | 0.08 | | 0.08 | | |
| マイコプラズマ肺炎 | 0.08 | 0.08 | 0.33 | 0.08 | 0.33 | 0.33 |
| クラミジア肺炎（オウム病は除く） | | | | | | |
| 感染性胃腸炎（ロタウイルス） | | | 0.08 | | | |

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況

(第28週、7/8～7/14) ※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

| 疾患名 | 定点当たり患者数（県・保健所管轄別） | | | | | | | | | | |
|------------------|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| | 県 | 佐世保市 | 長崎市 | 壱岐 | 西彼 | 県央 | 県南 | 県北 | 五島 | 上五島 | 対馬 |
| インフルエンザ | 0.56 | 0.55 | 1.88 | | | 0.09 | | | | | |
| 新型コロナウイルス感染症 | 22.40 | 10.91 | 24.59 | 35.67 | 17.17 | 24.45 | 34.38 | 25.75 | 9.50 | 23.33 | 21.67 |
| RSウイルス感染症 | 6.34 | 9.00 | 10.30 | 1.00 | 3.00 | 6.43 | 9.80 | 3.67 | 0.67 | | 0.50 |
| 咽頭結膜熱 | 0.30 | | 0.30 | 0.50 | | 0.29 | | 1.33 | | | 1.50 |
| A群溶血性链球菌咽頭炎 | 3.32 | 2.67 | 0.70 | 1.00 | 2.25 | 3.57 | 16.20 | 1.33 | | | 1.00 |
| 感染性胃腸炎 | 1.45 | 4.33 | 1.10 | 0.50 | 1.00 | 1.71 | 0.60 | 2.33 | | | |
| 水痘 | 0.23 | 0.50 | 0.40 | | 0.25 | 0.14 | | 0.33 | | | |
| 手足口病 | 10.98 | 13.00 | 13.40 | 2.00 | 6.00 | 20.29 | 5.00 | 17.00 | 3.67 | 5.00 | 2.00 |
| 伝染性紅斑（リンゴ病） | | | | | | | | | | | |
| 突発性発しん | 0.16 | 0.33 | 0.10 | | 0.25 | | | 1.00 | | | |
| ヘルパンギーナ | 0.84 | 0.50 | 1.40 | | | 2.14 | 0.20 | 0.33 | 0.33 | | 1.00 |
| 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） | 0.02 | | 0.10 | | | | | | | | |
| 急性出血性結膜炎 | | | | | | | | | | | |
| 流行性角結膜炎 | 1.00 | | 0.67 | | | | 6.00 | | | | |
| 細菌性髄膜炎 | | | | | | | | | | | |
| 無菌性髄膜炎 | | | | | | | | | | | |
| マイコプラズマ肺炎 | 0.33 | | 0.67 | | 1.00 | 1.00 | | | | | |
| クラミジア肺炎（オウム病は除く） | | | | | | | | | | | |
| 感染性胃腸炎（ロタウイルス） | | | | | | | | | | | |